

MORIWAKI MD600 鈴鹿サーキット/南コースにてシェイクダウン


Rider / SHOGO MORIWAKI

(C) MORIWAKI ENGINEERING CO., LTD.



(C) MORIWAKI ENGINEERING CO., LTD.

天候に恵まれた5月15日、鈴鹿サーキット/南コースにてMORIWAKI MD600のシェイクダウンを行いました。

今回テストした車体は、2009 MotoGP MOTEGIグランプリ開催時に発表を行った試作車三号機で、アルミフレームを採用しています。

今回は車体の各部機能の確認を重点的に行い、マシンの信頼性、ポテンシャルを確認。ライダーは森脇尚護選手が務め、勢力的に走り込みを行いました。三号機のシェイクダウンでありましたが、開発の方向性が間違っていない事が確認出来ました。

今回得たテスト結果を元に、更にレベルの高い車体に仕上げていきます。今後のMORIWAKIにご期待下さい。

■プロトタイプ主要諸元・車輛概要

- ・エンジン:HONDA CBR600RR
エンジンレギュレーションが最終決定次第
HONDA製レースエンジンとのフィッティングを進める。
- ・全長:2000mm
- ・フレーム:モリワキオリジナル アルミ製
ヘッドパイプ キャスター角変更可
ピボット 位置変更可
- ・スイングアーム:モリワキオリジナル アルミ製